

平成29年度 第1学年通信 No.10

平成30年3月16日（金）

1年間を振り返って

保護者の皆様、草刈り清掃から豚汁作りなどの本校の教育活動へのご協力ありがとうございました。この1年間の学校生活を通じて生徒達は成長しました。次年度は2学年、学校の中心的な役割を担い様々な面で取り組む必要が生徒達には出てきます。また、クラスも希望のコースに分かれたカリキュラムとなります。自分の進路目標をしっかりと見定めていく時期になります。次年度も生徒の成長を温かく見守っていただければと思います。



2月6日「わが町新聞」の新聞作りの様子



2月14日「わが町新聞」発表会の様子

各グループが少ない時間で協力して新聞を完成、発表まで頑張りました。

春休みを迎えるにあたり考えてほしいこと。

質問 その1、あなたは、先輩としての自覚はありますか。”先輩”と呼ばれるだけの尊敬される部分を作り出していますか。

質問 その2、あなたは、遠野高校の授業内容や進級の仕組みを理解していますか。

質問 その3、”高校生はどういう時期にあるか”理解していますか。

質問 その4、”2年生にはどんな役割があるのか”理解していますか。

答えの例

2年生は、学校の中心学年として、部活動では下級生を育て上級生を支える役目であり、学校行事で企画運営の中心的な役割をはたします。2年生には学校の核となる役割があるわけですからこの自覚をもって行動してほしい。

先輩である3年生は、自分の進路実現が中心となります。この先輩方に迷惑をかけずに支えとなり多くの場面で活躍できるのが2学年となります。

質問 その5、”人はなぜ勉強するのか”

以上の5点を諸君に投げかけました。答えの例も記載した部分もありますが、じっくり考え、あなた自身の答えを導き出してほしいと思います。そして、自分なりの答えを仲間や信頼できる人と話してみてください。この質問が「いい振り返りの時間となること」を期待しています。

次に”リーダーの条件” 3つを伝えます。

- ①その分野の力がある。（部活なら技術がある人。クラスなら勉強ができる人）
- ②仲間を認める。（部活なら仲間の失敗をカバーする人。クラスなら仲間が集まる人）
- ③信頼がある。（部活もクラスも休まず、何らかの期待に応える人）

これから2年生となる皆さんへ、学年からのメッセージ

堀越先生からのメッセージ

君たちの日々の生活から感じたことを伝えます。

口に出す言葉を意識しなさい。日々の言葉が君たちの人生を作ります。

マザー・テレサさんはこう話しています。

「思考に気をつけなさい。それはいつか言葉になるから。

言葉に気をつけなさい。それがいつか行動になるから。

行動に気をつけなさい。それがいつか習慣になるから。

習慣に気をつけなさい。それはいつか性格になるから。

性格に気をつけなさい。それがいつか運命になるから。」

日々の言葉、行動、想いが君たちの人生を作っていきます。

今から君たちの『思考・言葉』を変えましょう！

そして、自分の人生を切り開いていきましょう！

心の掃除をしながら人は生活するものです。悪い心が生まれたらそれをきれいになくす努力をしましょう。心は口に出す言葉から生まれます。これを少し意識してみてはどうでしょうか。

白石裕太先生からのメッセージ

あっという間に1年が過ぎていきました。皆さんにとって、この1年はどんな1年だったでしょうか。中学校とは違った授業、部活、生活を過ごしてきたと思います。この1年で経験したことは、きっと皆さんにとってかけがえのないものになると思います。さて、私もこの1年を振り返ってみたいと思います。4月には、新品の制服を着たみんなと入学式を迎えました。大きな声で返事をするみんなを見て、とても頼もしく感じるとともに、共に過ごす1年間に大きな期待を抱きました。5月には遠足、8月には球技大会、11月には校内文化祭など、たくさんの学校行事に取り組んできました。どの学校行事においても、いつも笑顔で楽しそうに取り組む姿がとても印象的でした。また、学校行事だけでなく、普段の生活においても笑い声の絶えない学年だったなと感じます。一緒に生活していると、先生もいつも笑顔で過ごすことができました。

また4月を迎えます。新しい学年として、次の1年を過ごしていくことになります。2年生として後輩の手本となり、また学校を中心として生活していくことになります。遠野高校を支えていく責任と自覚を胸に過ごしていきましょう。大事なことは、「真剣に授業・部活に取り組む事」、「メリハリをつけて生活すること」この2つです。次の1年も皆さんと共に、笑って過ごせる楽しい1年になることを期待しています。

内山源央先生からのメッセージ

本日は、今までも散々言われてきていることだと思いますが、聞く、ではなく聴くことの大切さについて改めて考えてみたいと思います。学習の基本は聴くことです。聴くことが身についている教室は静かで学級全員の学習意欲が高まっています。学習は教師からの問いかけや指示から始まるのですから、それを聞き漏らすとその後の学習に当然、支障をきたします。そうならないためにも聴くこと

を意識し、気持ちを引き締めてこれからの授業に臨んでいただきたいと思います。

また聴くことは学習面以外にも次の二点においても良い側面があります。

一つ目は、相手の話を一生懸命に聴くことは、その人を大切にしている心の表れであること。二つ目は、聴き合うことは、お互いを思いやる関係が築けることです。このように人の話を聴く行為は物事を理解する以上に、人としておおもとの行動でもあります。その行動が、心と心を結び相手を思いやる具体的な心の表れになります。

今年一年、一生懸命努頑張ったのに、望んだ成果が得られなかったこともあったと思います。しかし、失敗は成功の母と言いますように、この聴く姿勢を意識し新学年になってもチャレンジし続けて欲しいと思います。

佐藤洋二先生からのメッセージ

人生が生きるに値するようになるためには、ただひとつのことだけで充分だと変人イエスはいった。お互いに愛し合え、と。

イエスはきっと青二才で、人生のことを大して知らなかったのだろう。彼の教えのすべてはおそらく、彼の若さと未経験によってしか説明されないのかもしれない。何なら彼の無邪気さによってといってもいい。

親や兄弟を愛することは自然だ。恋人を愛することもエロスの自然な表現だ。でも、自分の敵を愛するとなると、誰にでもできることじゃない。争いや死から自分や家族や恋人を守るためには、敵を愛するくらいの変態じゃなきゃね。

池田智史先生からのメッセージ

「悩むこと」の勧め

「悩みがある。」「悩むことが多い。」と聞いて、「大変だなあ」とか「かわいそうだなあ」と「悩む」という言葉に対してマイナスのイメージを持つ人が多いのではないのでしょうか。もしそうだとしたら、少し視点を変えてみることをお勧めします。私は「悩むこと」はとても大切なものだと考えます。なぜなら、「悩むこと」とは「その対象と真剣に向き合っている」証だと考えているからです。例えば、「自分の生き方」などは、真剣に向き合えば、そう簡単に答えの出るものではありません。「何が正解か（そもそも正解があるのか）（我々教員にも「正解は」教えられない）分からないこと」に向き合うこと。つまり、何かに「悩んで」いる人は「悩み」のない人と比べて成長するためのチャンス迎えています。

それでも見通しのつかない「悩み」は君たちを不安にさせるかもしれません。そのような時にこそ、「悩みを抱えながら」学校に来て、友人や先生方との関わりの中で、その「悩み」のより良い答えを自分なりに見つけ出せるようにしてみませんか。来年度もどんどん「悩み」、真剣に自分の「生きていく道」を探そうとする君たちであることを期待します。

蛭田昌幸先生からのメッセージ

1年を振り返ると、堀越学年主任を中心にまとまった学年だったと感じる。堀越先生には4年前に進路指導主事として私のクラスを全員進路実現に導いてくれた。白石先生とは卓球を通じて、9ヶ月間ともに頑張ってきた。二人に共通することは、生徒に対する情熱だ。生徒の将来を考え、一生懸命に取り組む姿は、尊敬に値する。そんな学年に所属する生徒は、幸せだ。男子生徒について、体育を1年間見てきて思うことは、可能性がある。球技大会やマラソン大会・部活動などおおいに活躍した。ただ残念なことは、リーグシップに欠ける点だ。バスケットボールの授業に例えるなら、一人で突っ込んで行く選手、ディフェンスが誰もいないのに3ポイントシュートを打つ選手、味方がピンチなのにただ見ている選手など。バスケットは、スピーディーかつ判断材料が多く、チームを勝たせなければならない時に、自分は何をすべきかを考

えるスポーツだ。組織の中で何をすべきか、みんなが困っている時にどう行動をおこなうかならなかといったリーダーシップに欠けている。学校生活や部活動でも同様に思う。男子全員がリーダーシップを持ち、さらなる成長を期待する。

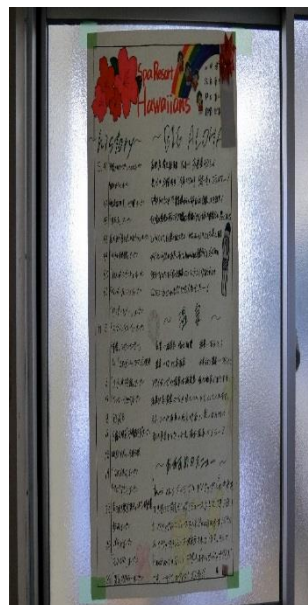
3月・4月行事

- 3月27日（火） 離任式（正装）・教室移動・教科書販売（代金持参）
- 4月 9日（月） 始業式（正装）・入学式準備・確認テスト（国・数・英）
- 4月10日（火） 入学式（2・3年は自宅学習）
- 4月11日（水） 対面式・部活動紹介・服装頭髪検査・身体測定
- 4月12日（木） 通常授業

その他連絡事項

- ・離任式、始業式、対面式は正装です。
- ・4月 9日（月）は春休みの課題の提出と、確認テスト（国・数・英）を実施します。計画的に自宅学習に取り組むこと。
- ・春休み休業中でも報告すべきことが生じた場合は、担任に連絡を下さい。

「我が町新聞」の第一位が2組2班のビーボ、仲間と協力しながらの発表が群を抜き、光っていました。



「我が町新聞」の第二位が1組4班のハワイアンズ、楽しさが伝わる文書とデザインが高評価を得ました。